

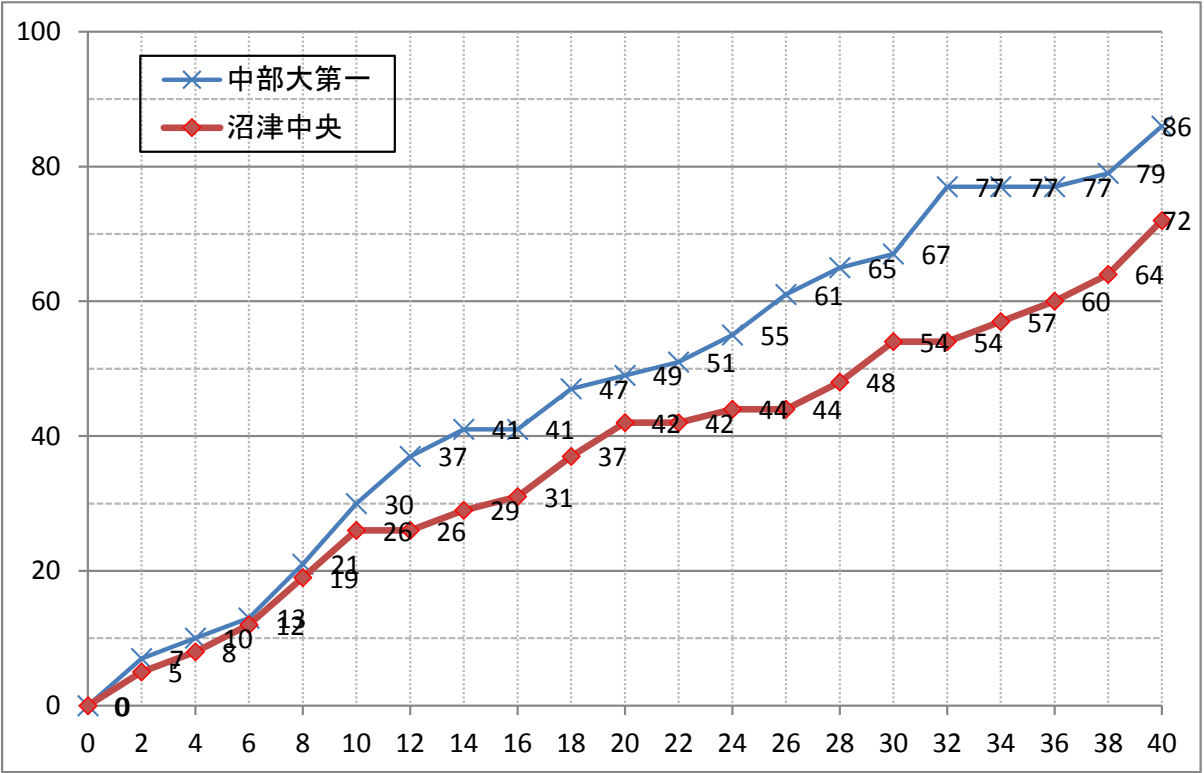
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子1回戦		TEAM A						
試合日	2015年6月20日	中部大第一 (愛知県)	86	30	-	26	72	沼津中央 (静岡県)
開始時間	12:40			19	-	16		
コート	Dコート			18	-	12		
審判(主)	加藤 昌樹			19	-	18		
審判(副)	東 雅弘			OT				

TEAM A 中部大第一 (愛知県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	遠藤 和希	10		5		1
5		早川 雄大	0				0
6	×	中村 浩陸	21	3	6		3
7	×	広沢 龍星	20	6	1		3
8	×	歌	21		10	1	3
9		加納 祐治	0				2
10		大川 翔	2		1		0
11		上澤 俊喜	2		1		1
12		小川 元暉	2		1		3
13	×	ディクソンジュニアタリキ	3			3	4
14		坂本 聖芽	2		1		0
15		王 嘉	3		1	1	4
16		星野 京介	—				
17		メディザデモルテザ	0				
18		植木将太郎	—				
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			86	9	27	5	24

TEAM B 沼津中央 (静岡県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	今村 拓夢	34		11	12	2
5	×	荻野 賢雅	3	1			1
6	×	小花 巧	10	2	1	2	1
7		石丸 彪	1			1	2
8	×	藤原 佑介	9		2	5	1
9		宮澤 亮	2		1		0
10		木村 美稀	—				
11		山田 隆	—				
12		深澤 香貴	—				
13		山梨 諒	—				
14		兼平 隆世	—				
15	×	サンブー アンドレ	13		6	1	3
16		鈴木 翔	0				2
17		渡辺 僚	—				
18		植田 真大	—				
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			72	3	21	21	12

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1P 愛知2位と静岡3位の1回戦。両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。中部大学第一は⑧のゴール下にもボールを集めて得点するのに対し、沼津中央は⑥の1on1、3Pで得点を入れ返す。互いにオフェンスの持ち味を発揮し合い、一進一退の攻防が繰り上げられるが、3Pを高確率で決めた中部大学第一が30-26の4点リードで1P終了。

2P 互いにマンツーマンディフェンス。中部大学第一が⑦の3Pシュートなどで連続7点を奪い、リードを11点に広げたところで沼津中央がタイムアウトを取る。その後沼津中央が④のドライブで応戦し、悪い流れを断ち切る。中部大学第一は⑧のゴール下、⑥の1on1、対する沼津中央は④の1on1と両チームの得点源が活躍する。2P終盤、中部大学第一のイージーシュートミスが続くも、中部大学第一が49-42の7点リードで前半を折り返す。

3P 両チームともディフェンスは、マンツーマン。中部大学第一は⑧のゴール下、④のミドルシュートで得点を重ねるのに対し、沼津中央は5分間⑧のミドルシュートのみの2得点。点差が15点差に開いたところで、たまたま沼津中央タイムアウト。残り2分沼津中央はディフェンスを2-3のゾーンに変え、アップテンポな流れから得点に成功する。中部大学第一は、リズムが悪くなるも、67-54の13点リードで何とかキープして第3P終了。

4P 中部大学第一はマンツーマン、沼津中央は、2-3のマッチャップゾーンディフェンスでスタート。第3Pに攻めあぐんだ沼津中央のゾーンディフェンスに対し、中部大学第一は⑦の連続3Pシュートや④の速攻で崩し始め、残り8分で沼津中央がタイムアウト。その後両チーム共シュートが思うように決まらない時間帯が続く。終始ゴール下での得点やリバウンドを優位に取った中部大学第一が86-72の14点リードで快勝し、2回戦へ駒を進めた。

選評(文責)	斉藤 潤	記入者	鈴木 里沙 杉保 有咲(高校) 浜松湖北
--------	------	-----	----------------------

第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子1回戦

試合日	2015年6月20日
開始時間	12:40
コート	A コート
審判(主)	関 博樹
審判(副)	本多 芳隆

TEAM A				
四日市農芸 (三重県)	84	16	-	23
		23	-	28
		20	-	29
		25	-	26
		OT		
106		富田 (岐阜県)		

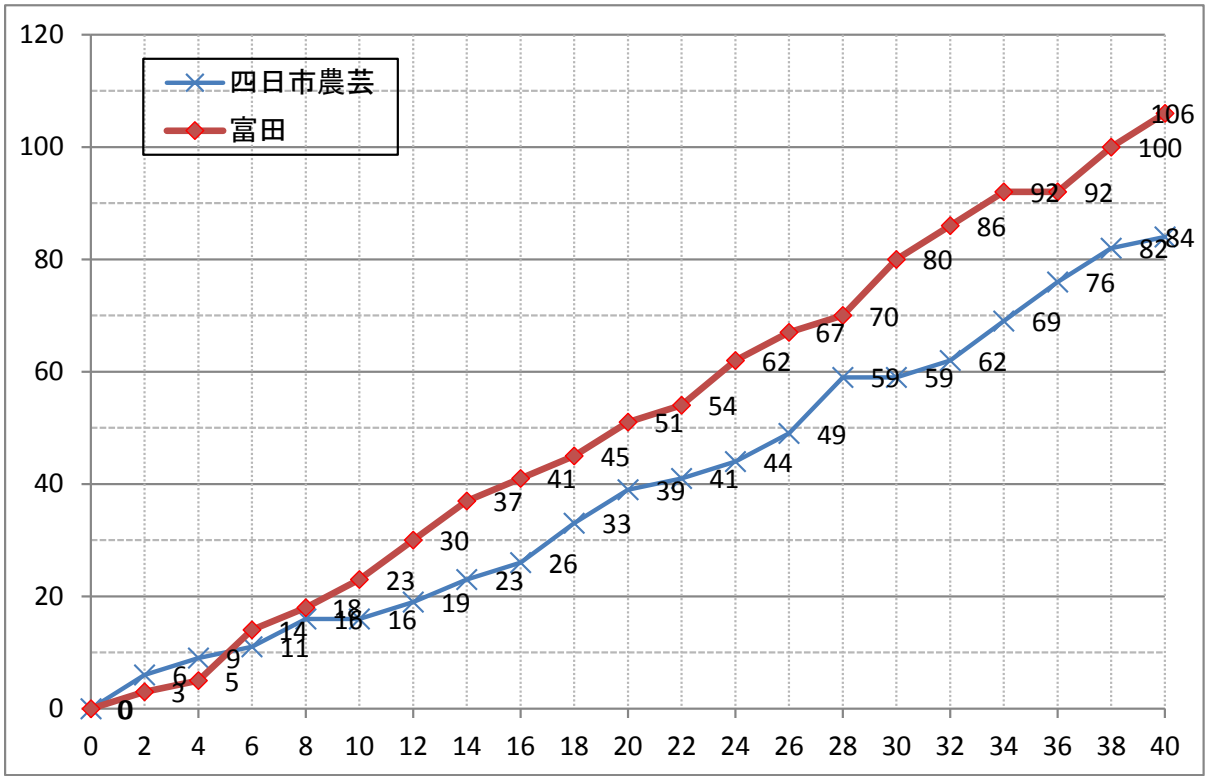
TEAM A 四日市農芸 (三重県)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	高橋 大輝	14	0	7	0	3
5	*	一見 陸人	18	0	6	6	4
6		宮澤 嘉希	-	-	-	-	-
7		古市 睦	2	0	1	0	3
8		川野 誠哉	-	-	-	-	-
9		池戸 拓海	-	-	-	-	-
10	*	近藤 舜	22	6	2	0	2
11		岸田 凌輔	0	0	0	0	1
12		巽 丈央	-	-	-	-	-
13		山口 悠河	-	-	-	-	-
14	*	黒田 晃弘	0	0	0	0	1
15	*	富井 玲治	28	6	3	4	3
16		栗田 海斗	-	-	-	-	-
17		坂倉 忠樹	-	-	-	-	-
18		別所 大輔	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			84	12	19	10	17

TEAM B 富田 (岐阜県)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	津谷俊一郎	8	0	3	2	4
5		三島 友彦	4	0	2	0	1
6		遠藤 楽巳	11	0	4	3	2
7	*	長谷川 楓	6	0	3	0	3
8	*	山田 零児	0	0	0	0	0
9		大野 裕貴	0	0	0	0	0
10	*	中川 大暉	26	1	10	3	4
11		田中甚之介	21	4	3	3	1
12		土屋 蓮	11	2	2	1	0
13	*	林 泰良	8	2	0	2	0
14		廣瀬 滯	2	0	1	0	0
15		池端龍之介	0	0	0	0	0
16		毛利 駿也	-	-	-	-	-
17		本田 覚士	2	0	1	0	0
18		小平 飛翔	7	1	2	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			106	10	31	14	15

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1P、両チーム2-3のゾーンディフェンスで試合を始める。四日市農芸がドライブや速攻で試合の流れをつかむかと思われたが、対する富田は⑩のリバウンドシュートやゾーンプレスで相手のミスを誘うなどして応戦し、逆転に成功。23-16の富田リードで1P終了。

2P、流れに乗る富田は、ゴール下シュートや、3Pなどで得点を重ねる。四日市農芸も⑩、⑮の3Pシュートや速攻で対抗する。2P終盤、四日市農芸の速攻が続いて決まり、点差を縮めようとするも、富田は3Pシュートを決め返し、追い上げを許さない。51-39と富田がリードを広げ、2P終了。

後半も両チーム2-3のゾーンディフェンスでスタート。富田は⑩の3Pが連続で決まり、リードを広げる。対する四日市農芸はリバウンドに積極的に跳び込み、勢いをつける。⑩や⑮の3Pシュートが決まり、食らいついていくが、残り21分を切ったところから富田のアウトサイドのシュートが連続して決まる。80-59の富田サード3P終了。

4P、追い上げを図りたい四日市農芸はオールコートでプレッシャーをかけ、ボールを奪いにいき、積極的にシュートやドライブを仕掛けていく。しかし、富田も集中力を切らさず最後まで戦い追従を許さない。106-84で富田が勝利を収め、2回戦に進出を決めた。

選評(文責)	菅川 浩樹	記入者	梅下 早絵 倉嶋 那緒(袋井商業高校)
--------	-------	-----	---------------------

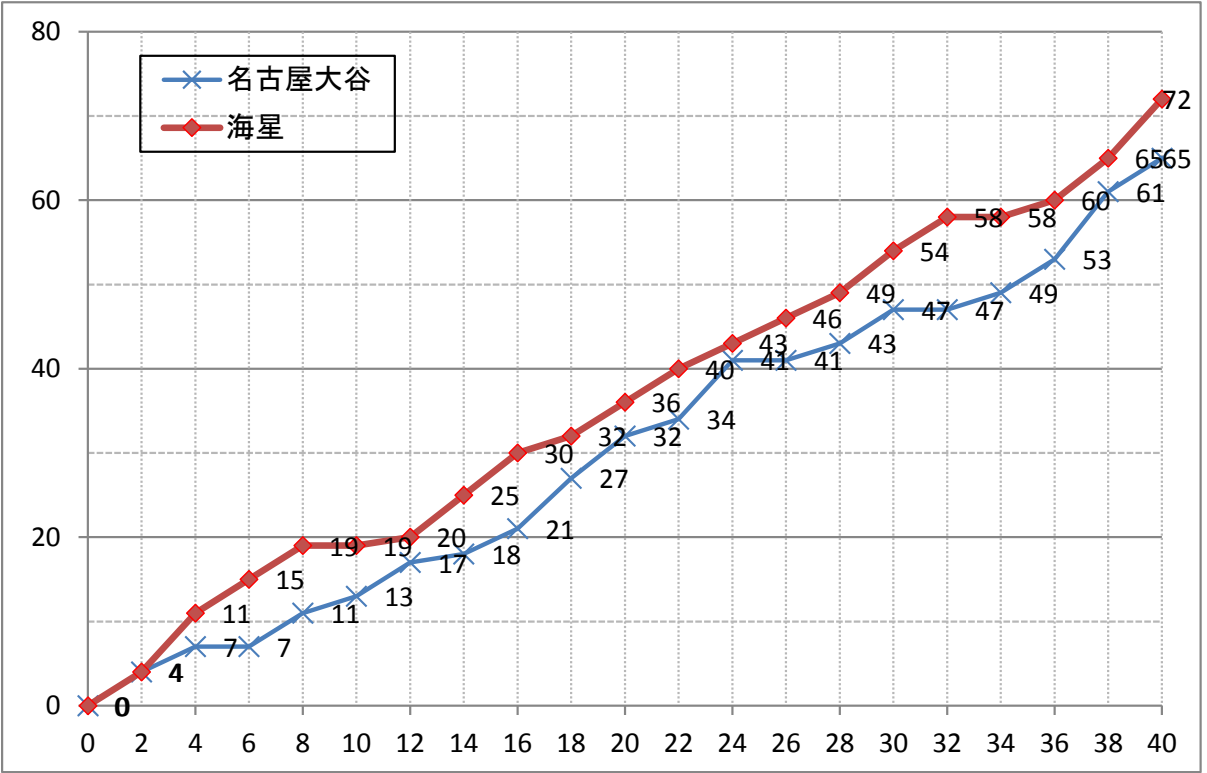
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子1回戦		TEAM A			
試合日	2015年6月20日	名古屋大谷 (愛知県) 65	13	-	19
開始時間	12:40		19	-	17
コート	Bコート		15	-	18
審判(主)	松野瑞穂		18	-	18
審判(副)	斉藤峰		OT		
			72 海星 (三重県)		

TEAM A 名古屋大谷 (愛知県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		那須ケビン	13	3	2	0	1
5		歌川チャルス亮	-	-	-	-	-
6		倉知 大就	-	-	-	-	-
7		川尻 幸宏	12	0	5	2	1
8		薑 領人	12	2	3	0	2
9		嶋田 裕斗	11	0	5	1	4
10		伊藤 堅斗	8	0	4	0	1
11		杉村 郁裕	-	-	-	-	-
12		田中 亮	6	0	3	0	3
13		小林 将也	3	1	0	0	0
14		山崎 爽	-	-	-	-	-
15		西島 雄大	-	-	-	-	-
16		平手 飛夢	-	-	-	-	-
17		古谷 隆也	-	-	-	-	-
18		北川 帝杜	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			65	6	22	3	12

TEAM B 海星 (三重県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		杉山 皓亮	14	1	5	1	2
5		田村 陸人	14	2	4	0	3
6		関口 誠也	10		5	0	1
7		佐脇 考哉	22	4	4	2	1
8		鼓 武佐士	-	-	-	-	-
9		舟木 聡良	-	-	-	-	-
10		釜池 優太	-	-	-	-	-
11		伊藤 響	-	-	-	-	-
12		平田 風稀	-	-	-	-	-
13		稲垣 慶	7	1	2	0	1
14		佐々木シンジ	-	-	-	-	-
15		鈴木 耀介	5	0	2	1	3
16		安江 祐貴	-	-	-	-	-
17		大木 康平	-	-	-	-	-
18		清水 大輝	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			72	8	22	4	11

【 得点経過 】



【 戦 評 】

名古屋大谷ハーフコートマンツーマン、海星オールコートゾーンプレスからハーフコートマンツーマンのディフェンスでスタート。立ち上がり海星が速いパス回しからの連続ドライブシュートでリズムをつかむ。ディフェンスではオールコートからの激しいプレッシャーで相手のミスを誘いペースをつかんだ。⑤、⑥の3Pやジャンプシュートで得点を重ねる。対する名古屋大谷は④の連続3Pで得点するも流れは変わらず、海星が19-13の6点リードで1Pを終える。

④のドライブシュート、速攻の連続得点で2Pがスタートするも、両チーム体を張った激しいディフェンスになかなか得点を奪えない、3分が経過し、海星が④の3Pや速攻などでリズムをつかむ。名古屋大谷はタイムアウトをとるもリズムは変わらず、30-18海星が12点をリードする。5分を経過すると名古屋大谷は④の3Pや⑫の高さを活かしたゴール下のシュートで流れを引きよせ、点差を詰め、36-32の海星4点リードで前半を終える。

後半がスタートし、海星はハーフコートのディフェンスをゾーンに変える。名古屋大谷は、⑨、⑫の高さを活かしたオフェンスで得点を重ね、点差をつめる。4分を過ぎ、両チームともなかなかシュートが決まらず、膠着状態が続く。名古屋大谷はオフェンスリバウンドを頑張り、ペースをつかむも、なかなかリズムにのれない。残り2分一進一退のオフェンスが続くも、海星は残り1秒でシュートを決め54-47の7点リードで3Pを終える。

名古屋大谷はリバウンドで優位に立つも、シュートが決まらずリズムにのれない。海星は、ゴール下のシュートをしっかりと決めペースをつかむ。残り5分で、海星が60-49と11点をリードし名古屋大谷がタイムアウト。タイムアウト後、名古屋大谷は⑨の高さを活かしたリバウンドシュートや、⑧の速攻で連続9得点で一気に差を縮め、残り1分で65-65の同点となる。海星は⑥のジャンプシュートで2点を奪うと、きっちりとした守りで名古屋大谷の得点を抑え、72-65で接戦を制した。

選評(文責)	鈴木則央	記入者	塚本紗奈、穴井みやび、鈴木愛梨 (高校)池新田
--------	------	-----	-------------------------

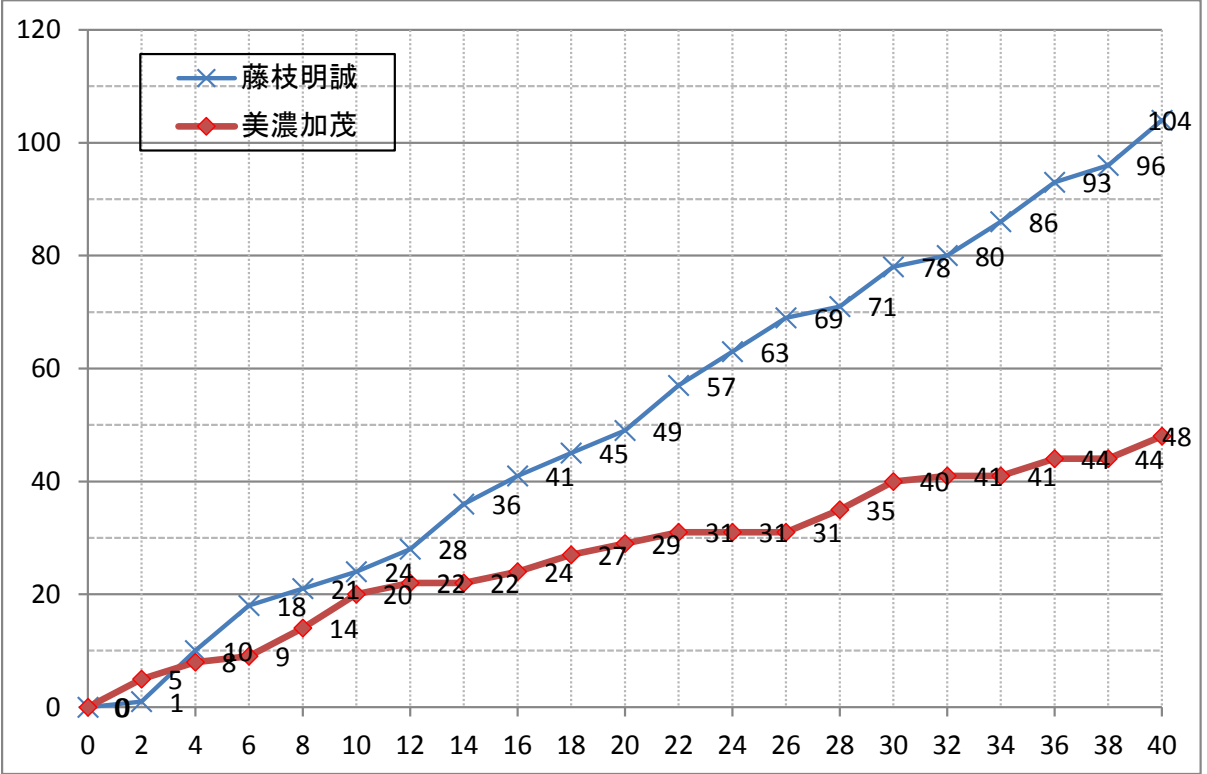
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子1回戦		TEAM A			
試合日	2015年6月20日	藤枝明誠 (静岡県)	24	-	20
開始時間	12:40		25	-	9
コート	Cコート		29	-	11
審判(主)	中根俊彦		26	-	8
審判(副)	田中誠治		OT		
		104	48	美濃加茂 (岐阜県)	

TEAM A 藤枝明誠 (静岡県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		林 大真	0				
5		坂下 郁弥	3		1	1	2
6	×	奥野 綾汰	3		1	1	1
7	×	草野 佑太	20	1	8	1	1
8		張 新鋒	4		2		1
9		野呂 拓真	4		1	2	2
10		福井 斗偉	5	1	1		
11		富永 涼介	8		3	2	
12	×	富田 一成	26		12	2	1
13		松原 史弥	5	1	1		
14	×	森 大空	4		2		1
15		北村 隆一	3		1	1	1
16	×	石井 竜馬	2		1		2
17		黒宮 拓磨	1			1	
18		南サーマン	16		8		1
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			104	3	42	11	13

TEAM B 美濃加茂 (岐阜県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		川守 立真	8	1	2	1	2
5	×	小栗 一修	3		1	1	1
6	×	松浦 康太	4		1	2	3
7		稲葉 潤一	0				1
8		櫻井 優磨	0				1
9		長谷川一生	0				
10		前田 将秀	3		1	1	
11		竹中 開生	0				2
12	×	塚原慶一朗	6		3		3
13		梅田 将太	1			1	
14		早川 和輝	4		2		3
15		打江 新	4		2		1
16	×	菅野 峻平	8	2	1		2
17		後藤 優仁	5	1	1		1
18	×	范 浩靖	2		1		
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			48	4	15	6	20

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1P 両チームとも、ハーフのマンツーマンディフェンスでスタートする。出だし、お互いミスが目立ったが、藤枝明誠がスティールからの速攻、⑦が起点となり、アシストからの得点などで流れを引き寄せ、残り3分で20-10と点差を広げた。美濃加茂は、2-1-2のゾーンディフェンスに替えた。藤枝明誠のミスを誘い速攻で得点を重ね、徐々に点差を縮めた。24-20藤枝明誠の4点リードで1P終了。			
2P 両チームとも、ハーフのマンツーマンディフェンスでスタートする。藤枝明誠は、スティールからの速攻、⑩の3P、1P同様⑦のアシストから点を重ねる。一方、美濃加茂は、藤枝明誠のディフェンスを崩すことが出来ず、残り6分、33-22とリードを広げられる。美濃加茂は流れを変えようと再びゾーンにするが、⑩の3P、⑦のアシストから得点を重ねられ、流れを変えられない。38-24と点差を広げられる。残り4分マンツーマンに戻すが、流れは変わらず49-29藤枝明誠20点リードで前半終了。			
3P 両チームとも、ハーフのマンツーマンディフェンスでスタートする。美濃加茂は、攻め手がなく、なかなか得点できない。一方、藤枝明誠は、⑫のゴール下のシュート、相手のミスを誘ってからの速攻などで確実に得点を重ねる。残り7分61-31と30点の差をつけた。藤枝明誠は主力をベンチにさげる余裕を見せ、78-40と38点差をつけ3P終了した。			
4P 両チームとも、ハーフのマンツーマンディフェンスでスタートする。藤枝明誠は全員ベンチメンバーで戦う。相手のミスやリバウンドからの速攻、ゴール下でのシュートで得点を重ねる。美濃加茂は、終始、藤枝明誠のディフェンスを崩すことができず、ペイントエリアを支配されていた。終始、相手を寄せ付けけない力の差を見せ104-48の大差で藤枝明誠が勝利した。			
選評(文責)	佐々木 靖之	記入者	竹下 楓 黒川 晴加(浜松湖北高校)

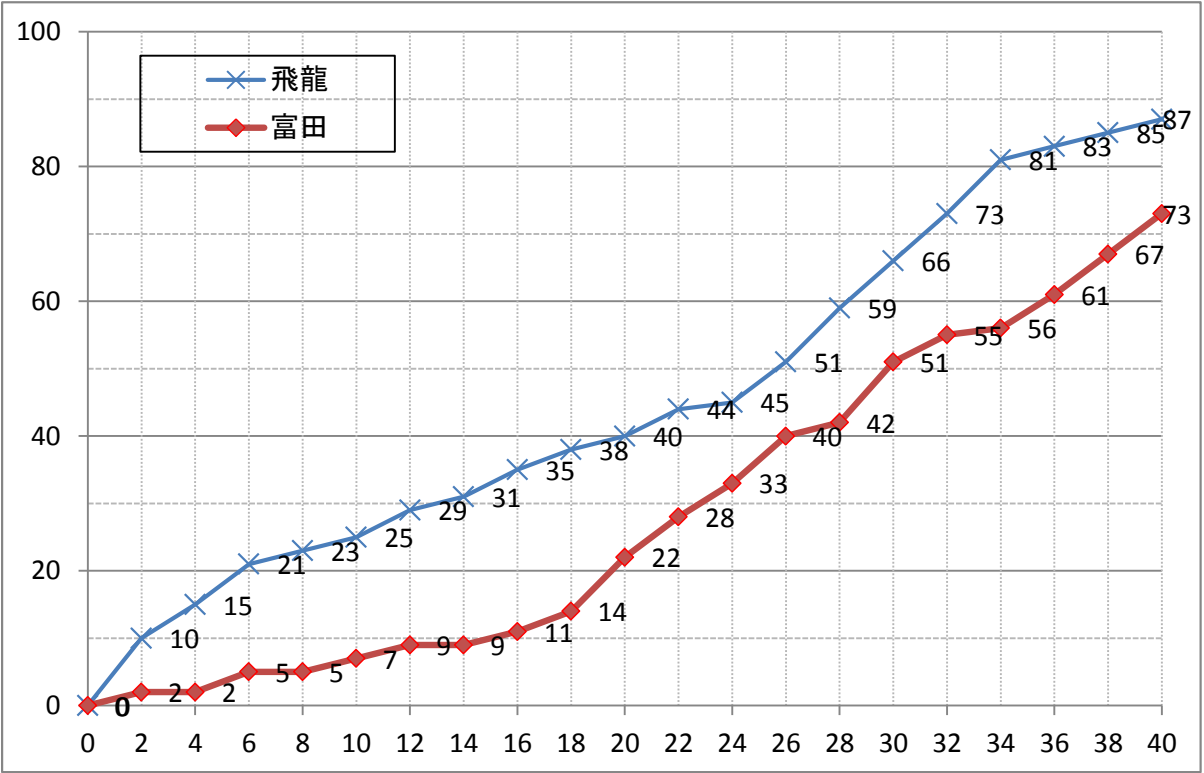
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子2回戦		TEAM A			
試合日	2015年6月20日	飛龍	87	73	富田
開始時間	16:00	(静岡県)		(岐阜県)	
コート	A コート				
審判(主)	名越 龍男				
審判(副)	居波 傑				

TEAM A		飛龍 (静岡県)					
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	小宮 光紀	21	3	5	2	2
5	*	安部 紘貴	17	0	6	5	3
6		島袋 龍	0	0	0	0	1
7		笠継 玲依	-	-	-	-	-
8		松下 裕汰	0	0	0	0	0
9		見館 空叶	0	0	0	0	3
10	*	廣岡 耕平	18	6	0	0	3
11		松村 樹	2	0	1	0	0
12		杉本 諒	0	0	0	0	0
13		山本 留佳	6	0	3	0	2
14	*	関屋 風画	8	0	3	2	2
15	*	馮 俊凱	15	0	5	5	1
16		奥村 大翔	0	0	0	0	1
17		伊東 潤司	0	0	0	0	1
18		牛島 宗揮	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			87	9	23	14	19

TEAM B		富田 (岐阜県)					
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	津谷俊一郎	13	0	5	3	4
5		三島 友彦	-	-	-	-	-
6	*	遠藤 楽巳	0	0	0	0	4
7		長谷川 楓	3	0	1	1	4
8		山田 零児	-	-	-	-	-
9		大野 裕貴	-	-	-	-	-
10	*	中川 大暉	13	0	5	3	4
11	*	田中甚之介	5	0	2	1	0
12		土屋 蓮	17	3	4	0	0
13	*	林 泰良	15	3	1	4	0
14		廣瀬 滯	-	-	-	-	-
15		池端龍之介	-	-	-	-	-
16		毛利 駿也	-	-	-	-	-
17		本田 寛士	-	-	-	-	-
18		小平 飛翔	7	1	2	0	3
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			73	7	20	12	19

【 得点経過 】



【 戦 評 】

共にマンツーマンでスタート。試合開始早々飛龍は、⑩廣岡、④小宮が連続3Pを決める。一方富田も⑪田中が得点するがその後なかなかシュートが決まらない。飛龍は⑮馮のインサイドにボールを集めながら富田のファールを誘い、次々と得点していく。富田もタイムアウトをとりリズムを変えようとするが、その後もリズムが変わることもなく1Pが終了した。2Pに入ってもリズムは変わらない。身長で勝てる飛龍が⑮馮のリバウンドなどで確実に得点を重ねリードを広げていく。富田はアウトサイドシュートの確率が上がらず得点することができない。富田はリズムを変えるために5分にタイムアウトを取りその後DFをゾーン(2-1-2)に変える。このチェンジングが功を奏し、飛龍の得点が止まる。逆に富田のアウトサイドシュートが決まりだし、⑫土屋の連続3Pで波に乗る。終了間際に⑩小平のシュートも決まり第2Pは互角の戦いとなった。3Pに入ると流れは一気に富田のリズムになる。④津谷の3連続ゴールで波に乗り、アウトサイドシュートの確率も上がり点差が詰まる。一方飛龍も⑮馮のリバウンドシュートなどで得点するが、富田の得点力が上回り、一気に5点差まで詰まる。4分47秒飛龍はたまたまタイムアウトを取り、選手を落ち着かせる。その後セットオフェンスで得点した飛龍は落ち着きを取り戻し④小宮、⑩廣岡のシュートも決まりだす。富田もタイムアウトを取るが流れを変えることができず、飛龍が得点を重ねる。残り2分飛龍は⑮馮を下げDFをオールコートマンツーマンに変え、さらに流れに乗り3Pが終了した。第4Pに入っても飛龍は⑮馮を下げDFをオールコートマンツーマンで富田にプレッシャーをかける。足が動き出した飛龍が3連続3Pで一気に富田を突き放す。一方、富田も⑩中川が積極的に1on1を仕掛け得点するが、もう1度流れを引き戻すことができず、飛龍の完勝だった。

選評(文責)	石川 雅也	記入者	袋井商業(高校)飯ヶ谷 杏海 浅井 野々香
--------	-------	-----	-----------------------

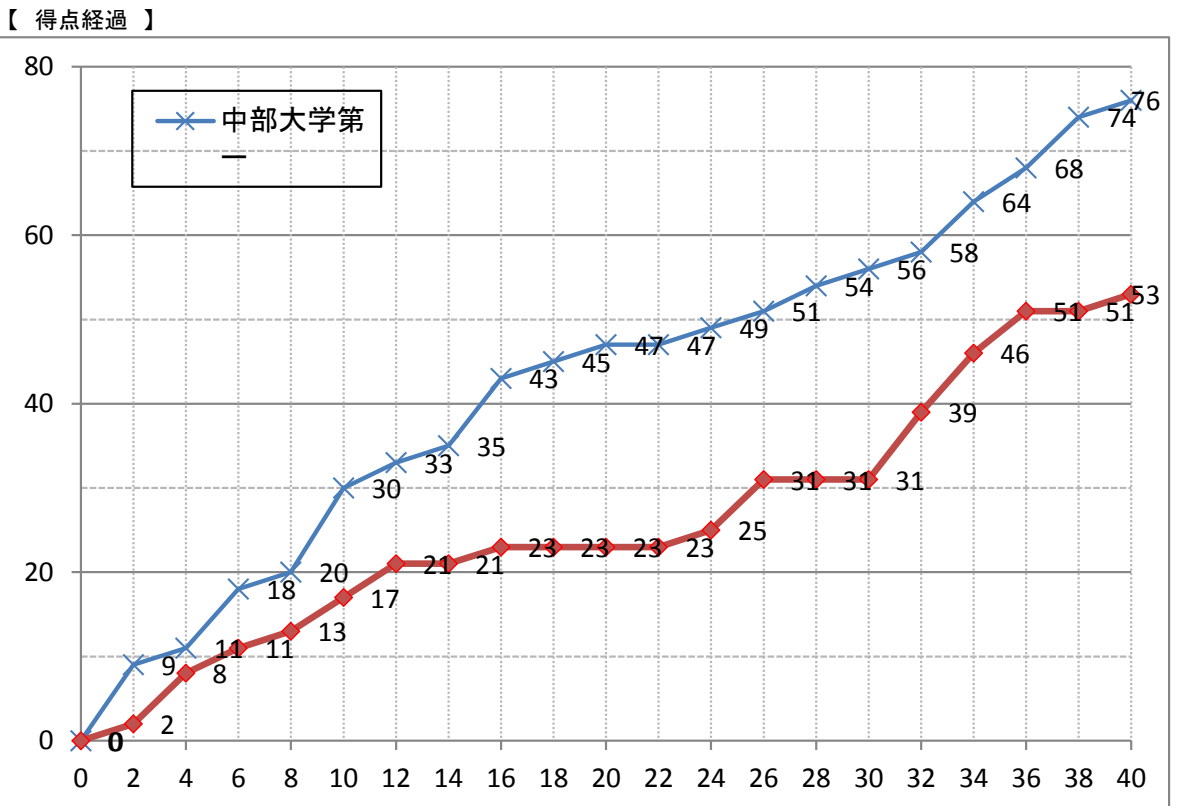
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場: 浜松アリーナ

男子2回戦	
試合日	2015年6月20日
開始時間	11:00
コート	D コート
審判(主)	河合拓治
審判(副)	太田亘俊

TEAM A	
中部大学第一 (愛知県)	76
30 - 17	
17 - 6	
9 - 8	
20 - 22	
OT	
53	四日市工業 (三重県)

TEAM A 中部大学第一 (愛知県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	遠藤 和希	6	0	2	2	2
5		早川 雄大	2	0	1	0	1
6	*	中村 浩陸	16	1	5	3	2
7	*	広沢 龍星	12	4	0	0	0
8	*	歌	17	0	8	1	1
9		加納 祐治	0	0	0	0	1
10		大川 翔	2	0	1	0	0
11		上澤 俊喜	2	0	1	0	0
12		小川 元暉	8	0	4	0	3
13	*	ディクソンジュニアタリキ	5	0	2	1	3
14		坂本 聖芽	0	0	0	0	1
15		王 嘉	4	0	2	0	1
16		星野 京介	2	0	1	0	0
17		メディザデモルテザ	0	0	0	0	2
18		植木将太郎	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			76	5	27	7	17

TEAM B 四日市工業 (三重県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	春日部貴成	9	0	3	3	3
5		水谷 圭吾	-	-	-	-	-
6		高野 一輝	2	0	1	0	1
7	*	杉野 晴輝	2	0	1	0	2
8		伊藤 裕貴	6	0	3	0	1
9	*	吉江 悠	12	0	5	2	5
10	*	説田 空隼	3	0	1	1	5
11		宇城 大希	-	-	-	-	-
12		垣内 聡志	-	-	-	-	-
13	*	余語 幸樹	4	1	0	1	1
14		田中 友基	11	3	1	0	3
15		野田 憲吾	0	0	0	0	0
16		山田 功大	4	0	2	0	2
17		鬼頭 侑也	-	-	-	-	-
18		伊藤 壮汰	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			53	4	17	7	23



【 戦 評 】			
1P 両者マンツーマンでスタート。中部大学第一が先制、その後も、⑥、⑦の連続得点で点数を重ねる。四日市工業も、フルコートの2-2-1プレス仕掛け、流れを引き寄せ、追いつける。四日市工業は相手のターンオーバーからのイージーバスケットで点数を重ねるもののハーフコートで得点することがなかなかできず、一方の中部大学第一高校は⑧の高さを生かしたオフェンスで点数を重ねる。1Pを30-17中部第一リードで終える。			
2P 四日市工業はプレスからのマンツーマンディフェンス継続する。中部大学第一高校は、ハーフコートのオフェンスで⑦の3P、⑧のゴール下のプレーで点差を広げる。四日市工業がなかなか、得点することができない中、中部大学第一は⑥の3P、④のバスケットカウントで点差を20点に広げる。点差はさらに広がり、47-23で前半を終える。			
3P 両者マンツーマン、両チーム共3分間得点はなかったが、四日市工業④がペネトレーションからのレイアップ⑨、⑧のポストアップで点差を縮める。中部大学第一も、⑫、⑤のジャンプショットで四日市工業の追い上げを許さない。そのまま点差は縮まらず56-31で3Pを終える。			
4P 両チームマンツーマン。四日市工業⑭の連続3P、④のゴール下で追いつける。その後も残り4分17点差まで追いつけるが、中部大学第一は、その後の追い上げを許さず、76-53で中部大学第一高校がベスト4に入った。			
選評(文責)	本間 光一	記入者	外山 結賀 外山 恵美(浜松湖北)

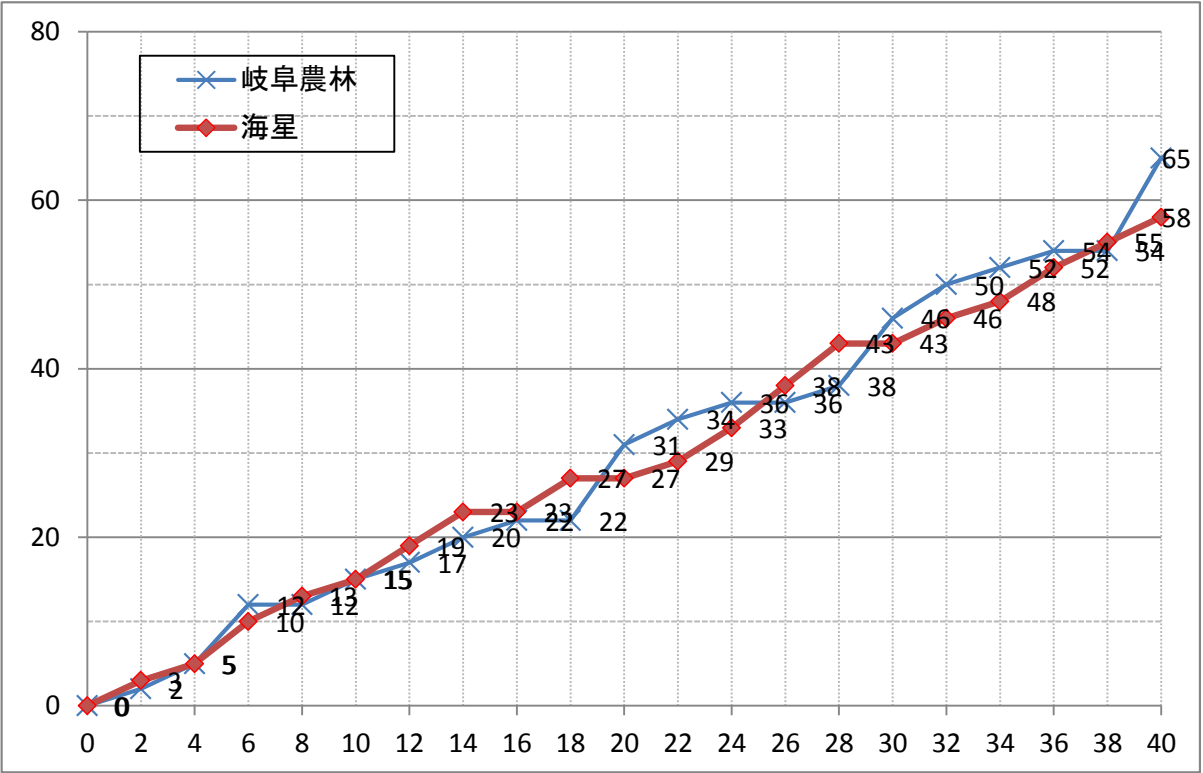
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子2回戦		TEAM A			
試合日	2015年6月20日	岐阜農林	65	58	海星
開始時間	16:00	(岐阜県)			(三重県)
コート	B コート				
審判(主)	川本正治				
審判(副)	青山宜正				

TEAM A 岐阜農林 (岐阜県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	熊崎 貴人	0	0	0	0	2
5	*	増本 優太	9	1	3	0	3
6	*	大坪 翔	33	5	8	2	3
7		境谷 一樹	-	-	-	-	-
8		川本 治樹	-	-	-	-	-
9	*	安江 誠	0	0	0	0	1
10		上野 大樹	9	1	3	0	0
11	*	安藤 将輝	14	1	5	1	1
12		川本 修士	-	-	-	-	-
13		山本 竜也	-	-	-	-	-
14		津田 翔英	-	-	-	-	-
15		吉村 太希	-	-	-	-	-
16		松岡 魁人	0	0	0	0	1
17		野原 和憲	-	-	-	-	-
18		中村 亮太	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			65	8	19	3	11

TEAM B 海星 (三重県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	杉山 皓亮	8	0	4	0	4
5	*	田村 陸人	11	1	3	2	1
6	*	関口 誠也	0	0	0	0	1
7	*	佐脇 考哉	22	4	5	0	2
8		鼓 武佐士	3	1	0	0	0
9		舟木 聡良	2	0	1	0	2
10		釜池 優太	-	-	-	-	-
11		伊藤 響	-	-	-	-	-
12		平田 風稀	-	-	-	-	-
13	*	稲垣 慶	3	0	1	1	2
14		佐々木シンジ	0	0	0	0	3
15		鈴木 耀介	9	1	3	0	1
16		安江 祐貴	-	-	-	-	-
17		大木 康平	-	-	-	-	-
18		清水 大輝	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			58	7	17	3	16

【 得点経過 】



【 戦 評 】

男子2回戦は、岐阜県1位 岐阜農林対三重県2位海星との戦い。岐阜農林はマンツーマン、海星は、1-2-1-1プレスから3-2のゾーンでスタート。岐阜農林は最初相手のゾーンプレスでミスが出てしまうが、徐々に落ち着きを取り戻し、⑥の3Pやジャンプシュート⑩の3Pが決まる。一方海星は、⑤の3P⑦のドライブや3Pで1対1中心に得点し、15-15で1Pを終える。岐阜農林が⑤ゴール下で先制すれば、海星も⑤がドライブを仕掛けて譲らない。お互いシュートが決まらない時間が続くが、残り4分海星の⑦レイアップ、⑮ジャンプシュートが決まる。しかし、岐阜農林は⑩がドライブやゴール下と連続で得点し逆転に成功する。31-27岐阜農林リードで前半終了。

後半開始、海星⑦が決めて反撃に入るが、岐阜農林も⑪が3Pを決め一進一退の攻防が続く。残り5分⑦が3P、ドライブと連続得点し逆転に成功する。その後も⑦のレイアップ、⑧の3Pで突き放そうとするが、岐阜農林も⑥がドライブ、3Pを決め同点に。さらに終了間際、岐阜農林⑥が3Pを決め46-43で3点リードで最終ピリオドへ。

最終ピリオド、疲れの見え始めた海星の前に、岐阜農林が⑤のゴール下⑥の速攻で突き放す。しかし、海星は⑦が3Pで返す。両者譲らず、岐阜農林は⑪のジャンプシュート、海星は④や⑮で粘る。残り2分岐阜農林⑤が連続で得点し勝負あり。相手のプレッシャーに落ち着いて対応し65-58で勝利した。一方の海星は2試合目で疲労がたまる中、最後まで攻め続けた。

選評(文責)	石谷優二	記入者	塚本紗奈
--------	------	-----	------

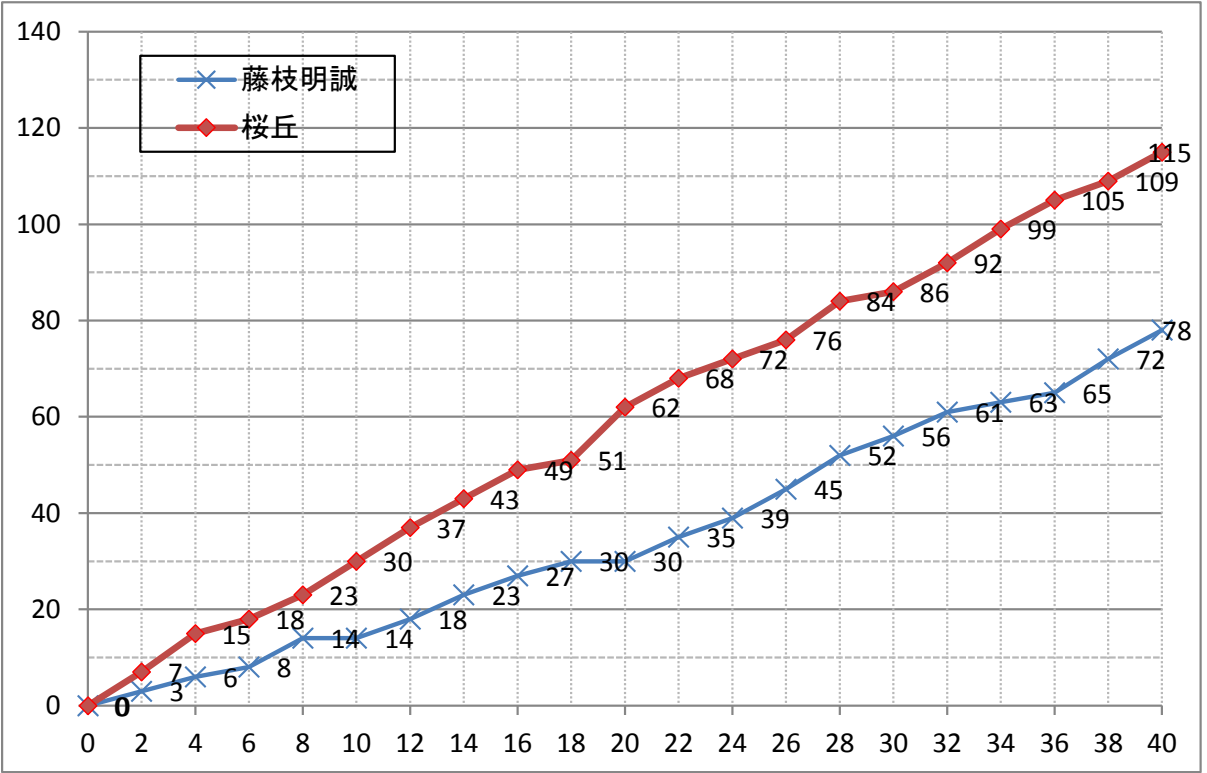
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子2回戦		TEAM A			
試合日	2015年6月20日	藤枝明誠	78	115	桜丘
開始時間	16:00	(静岡県)			(愛知県)
コート	Cコート				
審判(主)	坂井元直				
審判(副)	野々村晞				

TEAM A 藤枝明誠 (静岡県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		林 大真	-	-	-	-	-
5		坂下 郁弥	4	0	1	2	2
6	*	奥野 綾汰	0	0	0	0	1
7	*	草野 佑太	22	0	9	4	3
8		張 新鋒	-	-	-	-	-
9		野呂 拓真	2	0	1	0	0
10		福井 斗偉	4	0	2	0	1
11		富永 涼介	9	0	3	3	3
12	*	富田 一成	20	0	8	4	2
13		松原 史弥	-	-	-	-	-
14	*	森 大空	8	0	3	2	1
15		北村 隆一	-	-	-	-	-
16	*	石井 竜馬	4	0	1	2	4
17		黒宮 拓磨	-	-	-	-	-
18		南サーマン	5	0	2	1	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			78	0	30	18	18

TEAM B 桜丘 (愛知県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	鈴木 空	13	1	4	2	2
5	*	桑 辰弥	15	1	6	0	3
6	*	中尾 良平	10	0	4	2	2
7	*	高橋 理輝	8	0	4	0	2
8		井上 涼	10	0	4	2	4
9		高木 稜梧	5	1	1	0	2
10	*	MBODJ LAMINE	24	0	10	4	1
11		今田 涼斗	8	0	4	0	3
12		DIAGNE COULOU	12	0	5	2	0
13		夏目 雅基	0	0	0	0	0
14		小倉 健	0	0	0	0	0
15		スバ ニッコ	0	0	0	0	0
16		横山遼太郎	0	0	0	0	0
17		宮脇イ戈尔	6	0	3	0	0
18		大井 崇幹	4	0	2	0	2
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			115	3	47	12	21

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1P 静岡2位の藤枝明誠と愛知1位の桜丘の一戦。桜丘⑦の1on1で先制。対する藤枝明誠は⑩のフリースロー、⑫のドライブで返す。桜丘は④の3P、⑥のジャンプシュートで応戦する。その後⑩のゴール下、⑦のスティールからの速攻で引き離す。たまたず、藤枝明誠はタイムアウトを取り、ディフェンスを3-2のゾーンに変えるが、桜丘⑩のゴール下のプレーが連続で決まり、大きく離される。桜丘は多彩な攻めを見せ大きなリードをする。1P藤枝明誠14-30桜丘で終了。

2P 反撃したい藤枝明誠は、⑦のジャンプシュート、バスケットカウントと気合のこもったプレーをするが、桜丘は3P、ドライブ、速攻と次々と得点し、差を広げる。藤枝明誠は桜丘の高さに苦しみ、中々得点することができない。桜丘はリバウンドから速攻に持ち込み、次々と得点していく。2P藤枝明誠30-62桜丘で終了。

3P 流れをつかみたい藤枝明誠は、激しいディフェンスを仕掛ける。⑪の連続得点で流れを呼びこもうとするが桜丘⑧のジャンプシュート、速攻で追撃を許さない。桜丘の集中力が切れる時間帯もあったが、3Pは、一進一退の攻防が続き、藤枝明誠56-86桜丘で終了。

4P 4Pに入っても桜丘は多彩なスクリーンプレーから次々と得点を重ねていく。4P途中では⑫の豪快なアリウープダンクも出て、会場が盛り上がった。藤枝明誠も最後まで闘志溢れるプレーを見せたが、桜丘が危うげなく勝利した。4P藤枝明誠78-115桜丘で終了。

選評(文責)	杉本 貴央	記入者	竹下楓 大野萌子(浜松湖北)
--------	-------	-----	----------------

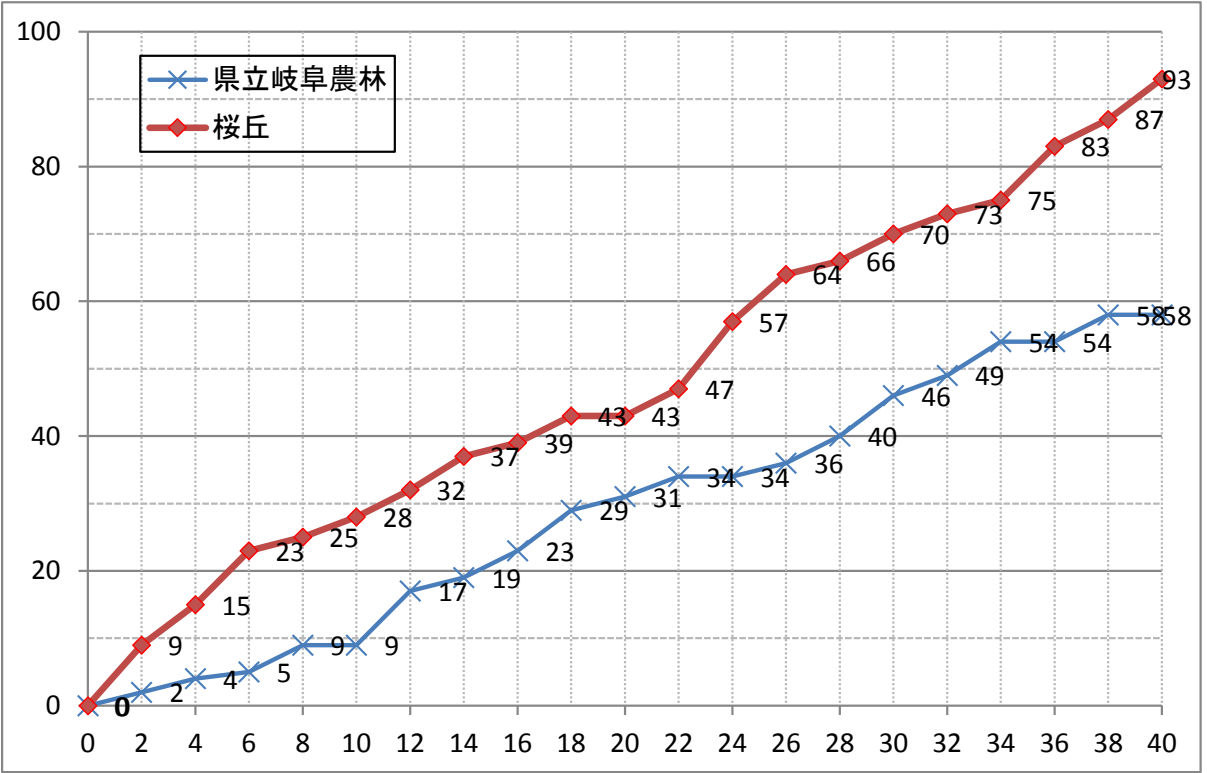
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子準決勝		TEAM A			
試合日	2015年6月21日	県立岐阜農林 (岐阜県)	9	-	28
開始時間	11:40		22	-	15
コート	Bコート		15	-	27
審判(主)	川本 正治		12	-	23
審判(副)	今井 淳二 角平 和優		OT		
		58			93
				桜丘	(愛知県)

TEAM A 県立岐阜農林 (岐阜県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	熊崎 貴人	2	0	0	2	2
5	*	増本 優太	11	1	4	0	3
6	*	大坪 翔	22	3	5	3	0
7		境谷 一樹	0	0	0	0	0
8		川本 治樹	0	0	0	0	0
9	*	安江 誠	4	0	2	0	1
10		上野 大樹	5	1	0	2	0
11	*	安藤 将輝	7	1	2	0	3
12		川本 修士	0	0	0	0	0
13		山本 竜也	2	0	1	0	0
14		津田 翔英	0	0	0	0	0
15		吉村 太希	0	0	0	0	0
16		松岡 魁人	0	0	0	0	0
17		野原 和憲	3	1	0	0	1
18		中村 亮太	2	0	1	0	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			58	7	15	7	11

TEAM B 桜丘 (愛知県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	鈴木 空	5	1	1	0	1
5	*	桑 辰弥	19	3	5	0	1
6	*	中尾 良平	14	0	7	0	2
7	*	高橋 理輝	0	0	0	0	0
8		井上 涼	5	1	1	0	0
9		高木 稜梧	13	1	4	2	1
10	*	MBODJ LAMINE	19	0	9	1	2
11		今田 涼斗	4	0	2	0	3
12		DIAGNE COULOU	14	0	7	0	1
13		夏目 雅基	-	-	-	-	-
14		小倉 健	-	-	-	-	-
15		スバ ニッコ	-	-	-	-	-
16		横山遼太郎	-	-	-	-	-
17		宮脇イ戈尔	0	0	0	0	0
18		大井 崇幹	0	0	0	0	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			93	6	36	3	12

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1P 岐阜1位岐阜農林と愛知1位桜丘の準決勝。互いにマンツーマンでスタート。開始直後桜丘⑤がドライブからのレイアップを決め、先制する。桜丘は⑩にボールを集め、ゴール下で着実に点数を重ねていく。対する岐阜農林はスクリーンプレイで桜丘のディフェンスを崩しにかかるがなかなかリズムが掴めない。試合開始5分、16点差がついたところで岐阜農林がタイムアウト。流れを変えたい岐阜農林だが、桜丘の堅実なディフェンスを切り崩すことができない。その後も桜丘のペースで試合が進み、9-28、桜丘リードで1Pが終了する。			
2P 岐阜農林はディフェンスをマッチアップゾーンに切り替える。これが効果的に働いて桜丘の勢いは削られる。岐阜農林⑥番が3P、ドライブからのレイアップを立て続けに決め、19-34まで点差を縮められたところで桜丘がタイムアウト。タイムアウト後、桜丘はブレイクから⑫がダンクシュートを決めるが、なかなか岐阜農林のゾーンが攻略できない。その間に岐阜農林は少しずつ点差を詰めていく。残り4分の段階で互いにメンバーを入れ替え、試合の流れを引き寄せようとするが、膠着状態が続く。31-43桜丘リードで前半が終了。			
3P 岐阜農林⑥の3Pで後半がスタート。後半に入ってから岐阜農林はゾーンを継続する。桜丘は⑩のインサイド、④のドライブからのパスアウト等、持ち前の攻撃力を生かして少しずつ岐阜農林のゾーンを攻略し始める。桜丘⑥のバスケットカウント、⑤の3Pで再度桜丘が突き放しにかかったところで岐阜農林がタイムアウト。桜丘の勢いを止めたい岐阜農林だが、桜丘の厳しいプレッシャーに攻めあぐむ間に、桜丘はブレイク、⑩のインサイド、⑤の3Pと多彩な攻撃で追撃を許さない。残り4分、2度目のタイムアウト後に岐阜農林はプレスで仕掛ける。しかし、桜丘は落ち着いてこれをかわし、46-70、桜丘リードで3P終了。			
4P 岐阜農林⑩が3Pを沈め、最後の10分がスタート。岐阜農林がゾーンを継続し、懸命にゴールを守る。オフェンスも積極的にシュートを狙い、桜丘に食ひ下がる。一方桜丘は⑥が攻撃の起点となり、岐阜農林のディフェンスに揺さぶりをかける。⑥から⑫のハイローの合わせ、⑫が攻守に渡ってリバウンドを支配し、桜丘のペースは乱れない。試合を通じて主導権を握った桜丘が、58-93で岐阜県1位岐阜農林を下し、東海制覇に王手をかけた。岐阜農林も最後まで気迫溢れるプレーで応戦し、4強に相応しい1戦となった。			
選評(文責)	草野 勝政	記入者	高塚 淳奈 河原崎 絵美 (池新田高校)

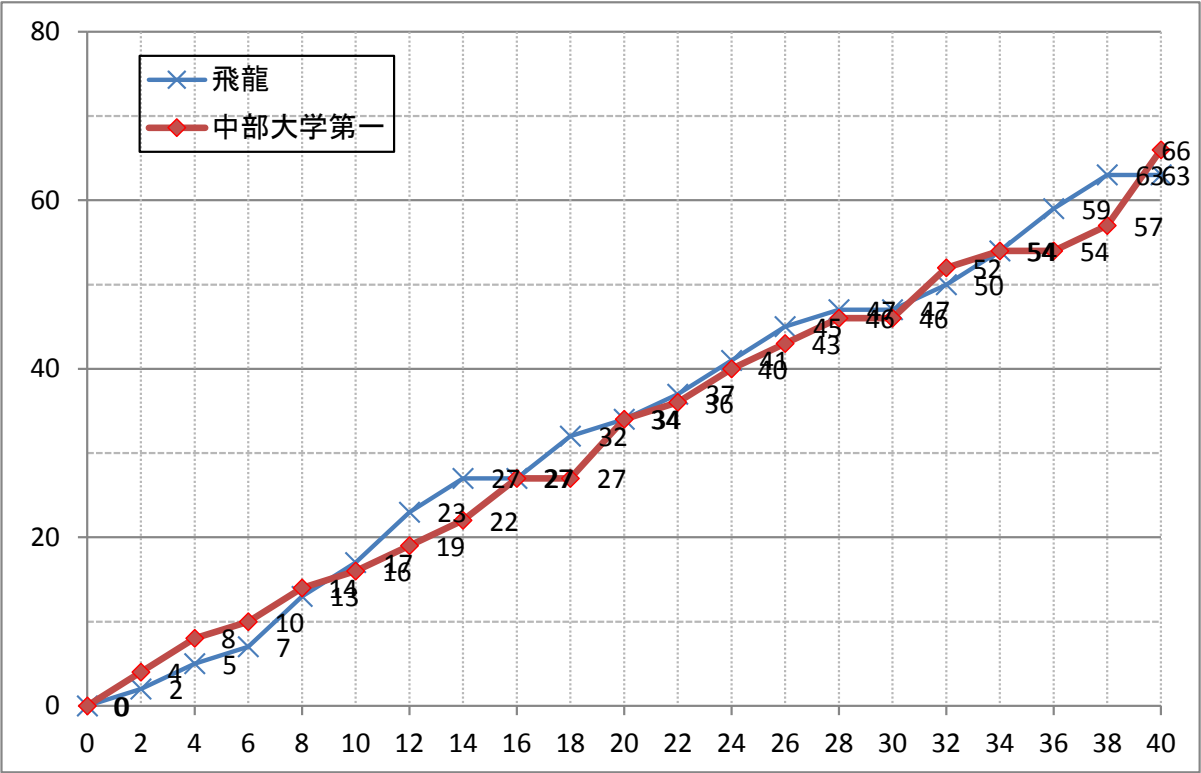
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子準決勝		TEAM A						
試合日	2015年6月21日	飛龍 (静岡県)	63	17	-	16	66	中部大学第一 (愛知県)
開始時間	11:40			18	-	18		
コート	A コート			12	-	12		
審判(主)	宇田津浩之			16	-	20		
審判(副)	大豆村 寿 青山定正			OT				

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		小宮 光紀	20	2	6	2	3
5		安部 紘貴	17	2	5	1	5
6		島袋 龍	0	0	0	0	1
7		高木 大輝	-	-	-	-	-
8		土屋 龍斗	-	-	-	-	-
9		見館 空叶	0	0	0	0	2
10		廣岡 耕平	2	0	1	0	2
11		浅野 右京	-	-	-	-	-
12		杉本 諒	-	-	-	-	-
13		山本 留佳	0	0	0	0	0
14		関屋 風画	11	0	4	3	
15		馮 俊凱	13	0	6	1	4
16		奥村 大翔	-	-	-	-	-
17		伊東 潤司	0	0	0	0	0
18		金井 星也	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			63	4	22	7	17

TEAM B 中部大学第一 (愛知県)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		遠藤 和希	22	1	5	9	1
5		早川 雄大	-	-	-	-	-
6		中村 浩陸	26	3	6	5	2
7		広沢 龍星	3	1	0	0	4
8		歌	8	0	4	0	3
9		加納 祐治	-	-	-	-	-
10		大川 翔	-	-	-	-	-
11		上澤 俊喜	-	-	-	-	-
12		小川 元暉	2	0	1	0	2
13		ディクソンジュニアタリキ	2	0	1	0	3
14		坂本 聖芽	-	-	-	-	-
15		王 嘉	0	0	0	0	1
16		星野 京介	-	-	-	-	-
17		メディザデモルテザ	-	-	-	-	-
18		植木将太郎	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			63	5	17	14	16

【 得点経過 】



【 戦 評 】

お互いマンツーマンでスタート。飛龍高校のセットプレーで先制するが、中央大第一高校もすぐにペリメーターのジャンパーで得点する。その後も飛龍は⑤の3P⑮のゴール下、中部大第一は④の連続得点⑥のポストアップで点数を重ね、一進一退の攻防を見せ、17-16飛龍の1点リードで1Pを終える。

2P両者マンツーマン飛龍⑤、④のレイアップシュート、⑭のジャンプシュートで点差を広げ、中部大第一はタイムアウト。タイムアウト後、中部大第一は⑥の連続3Pで2点差とする。その後、中部大第一④のフリースローで同点に追いつくが、飛龍も⑭のジャンプシュート、④の3P、フリースローで最後までリードを許さず、35-34で前半を終える。

3P飛龍④のフローターで先制、その後も⑭フリースロー⑩3Pで点差を広げるが、中部大第一も⑧、⑫連続得点で、しっかりとついていく。その後中部大第一は⑥の3Pで一時は逆転するが、飛龍も⑮のゴール下で入れ返し、シーソーゲームに。その後も両者一歩も譲らず、47-46飛龍1点のリードで最終Pをむかえる。

4P10秒で飛龍高校エースの⑤が4つ目のファール。その後は両者一歩も譲らない展開。残り4分飛龍⑭のバスケットカウントでリードを5点に広げる。中部大第一はたまたまタイムアウトを取るが、残り2分で逆に6点差まで広がってしまい。2つ目のタイムアウト。残り1分40秒飛龍⑤は5つ目のファールで退場してしまう。飛龍高校のタイムアウト後、中部大第一は2-2-1のプレス仕掛け、残り30秒で1点逆転に成功する。エースを失った飛龍も、最後までねばり強いDFで、追い付こうとするが、63-66で中部大第一が決勝進出を決めた。

選評(文責)	本間光一	記入者	塚本紗奈 松下汐里(池新田高校)
--------	------	-----	------------------

第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子3位決定戦

試合日	2015年6月21日
開始時間	15:00
コート	Bコート
審判(主)	田中 誠治
審判(副)	野々村 晴

TEAM A

飛龍 (静岡県)	62	18	-	7	57	岐阜農林 (岐阜県)
		16	-	17		
		13	-	14		
		15	-	19		
		OT				

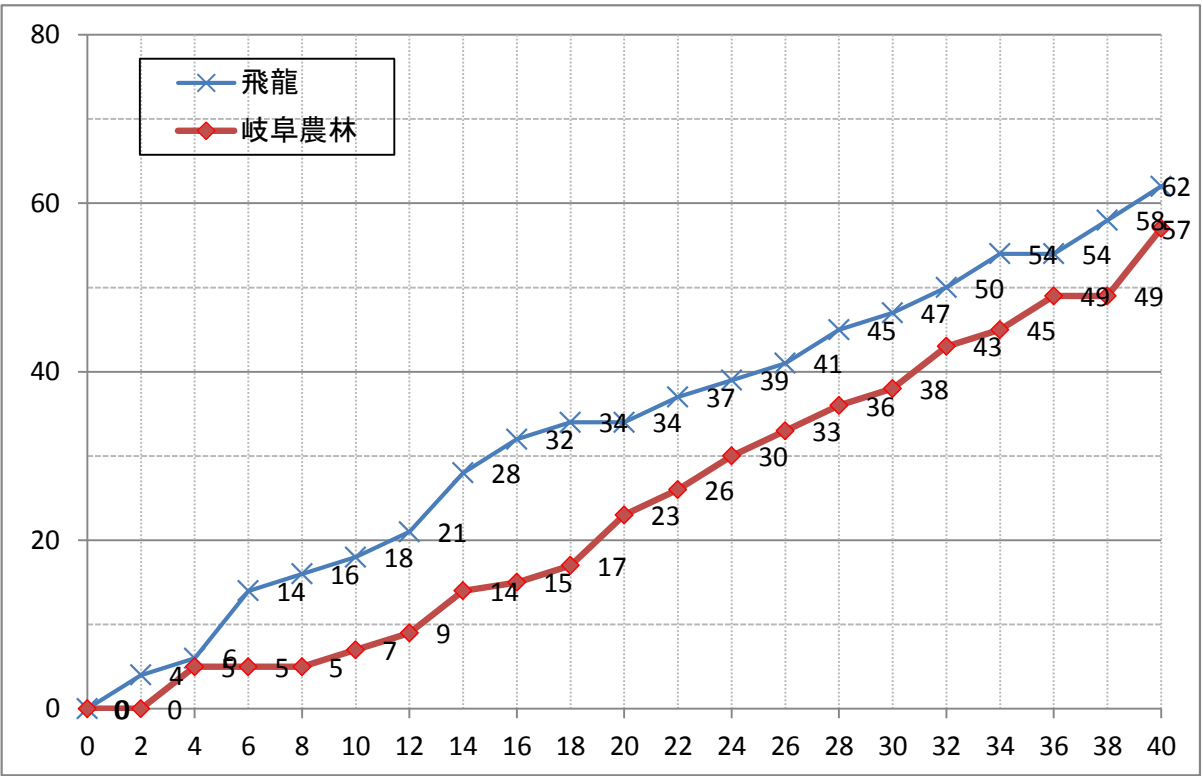
TEAM A 飛龍 (静岡県)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		小宮 光紀	-	-	-	-	-
5	*	安部 紘貴	7	1	1	2	1
6		島袋 龍	2	0	1	0	2
7		高木 大輝	0	0	0	0	0
8		土屋 龍斗	0	0	0	0	0
9	*	見館 空叶	7	1	2	0	3
10	*	廣岡 耕平	11	3	1	0	1
11		浅野 右京	0	0	0	0	0
12		杉本 諒	0	0	0	0	0
13		山本 留佳	0	0	0	0	0
14	*	関屋 風画	20	0	9	2	0
15	*	馮 俊凱	12	0	6	0	3
16		奥村 大翔	-	-	-	-	-
17		伊東 潤司	3	1	0	0	1
18		金井 星也	0	0	0	0	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			62	6	20	4	12

TEAM B 岐阜農林 (岐阜県)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	熊崎 貴人	6	0	2	2	2
5	*	増本 優太	6	2	0	0	2
6	*	大坪 翔	30	3	9	3	0
7		境谷 一樹	-	-	-	-	-
8		川本 治樹	-	-	-	-	-
9	*	安江 誠	8	2	1	0	0
10		上野 大樹	4	0	2	0	0
11	*	安藤 将輝	5	1	1	0	3
12		川本 修士	0	0	0	0	0
13		山本 竜也	-	-	-	-	-
14		津田 翔英	-	-	-	-	-
15		吉村 太希	-	-	-	-	-
16		松岡 魁人	-	-	-	-	-
17		野原 和憲	-	-	-	-	-
18		中村 亮太	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			59	8	15	5	7

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1P 3位決定戦。静岡1位飛龍高校と岐阜1位岐阜農林高校の一戦。両チームマンツーマンでスタート。両チーム重い立ち上がりで中々シュートが決まらない。初めに先制したのは飛龍⑮のゴール下。その後⑭がゴール下、バスケットカウントと得点する。対する岐阜農林は④の1on1、⑥の3Pで返す。飛龍⑨、⑩が連続して3Pを決め、⑤がフリースローを獲得した所で岐阜農林はたまたまずタイムアウトを取る。その後も硬さがあり点差を離され、1P、飛龍18-7岐阜農林で終了。

2P 2Pに入っても飛龍の攻撃は止まらない。⑤の1on1、⑪の3P、⑭の速攻と次々と得点していく。流れを変えたい岐阜農林は3-2のゾーンディフェンスに変える。飛龍の足が止まるが岐阜農林も攻め手を欠き、なかなか点差を縮めることができない。2P、残り2分のところで岐阜農林⑥がスパーク。ジャンプシュート、フリースロー2本、ゴール下、3Pと9得点し、点差ををつめる。2P、飛龍34-24岐阜農林で終了。

3P 後半に入っても岐阜農林は3-2のゾーンディフェンスで守るが、飛龍がリバウンドを取り、流れを渡さない。しかし3-2のゾーンディフェンスが効きははじめ、飛龍は外角でのミスが出始め、じわじわと点をつめる。岐阜農林⑪の3Pが決まり、6点差につめよるが飛龍は⑥のジャンプシュート、⑮のゴール下落ち着いて攻め、追撃を許さない。3P、飛龍47-38岐阜農林で終了。

4P 4Pに入って、岐阜農林が⑨の3P、⑥の速攻と得点し、4点差につめよる。しかし、飛龍の⑩が3P、ジャンプシュートと連続して得点し、再び9点差となる。その後、一進一退の攻防が続く。岐阜農林は、最後まで諦めずボールを追い続ける。残り時間わずかの所で⑤の3P、⑥の3P、速攻と意地を見せるがタイムアップ。4P、飛龍62-57岐阜農林で飛龍が勝利した。最後まで諦めない岐阜農林の姿勢に会場から拍手が湧いた。

選評(文責)	杉本 貴央	記入者	(袋井商業高校)高塚 咲羽 浅井 野々香
--------	-------	-----	----------------------

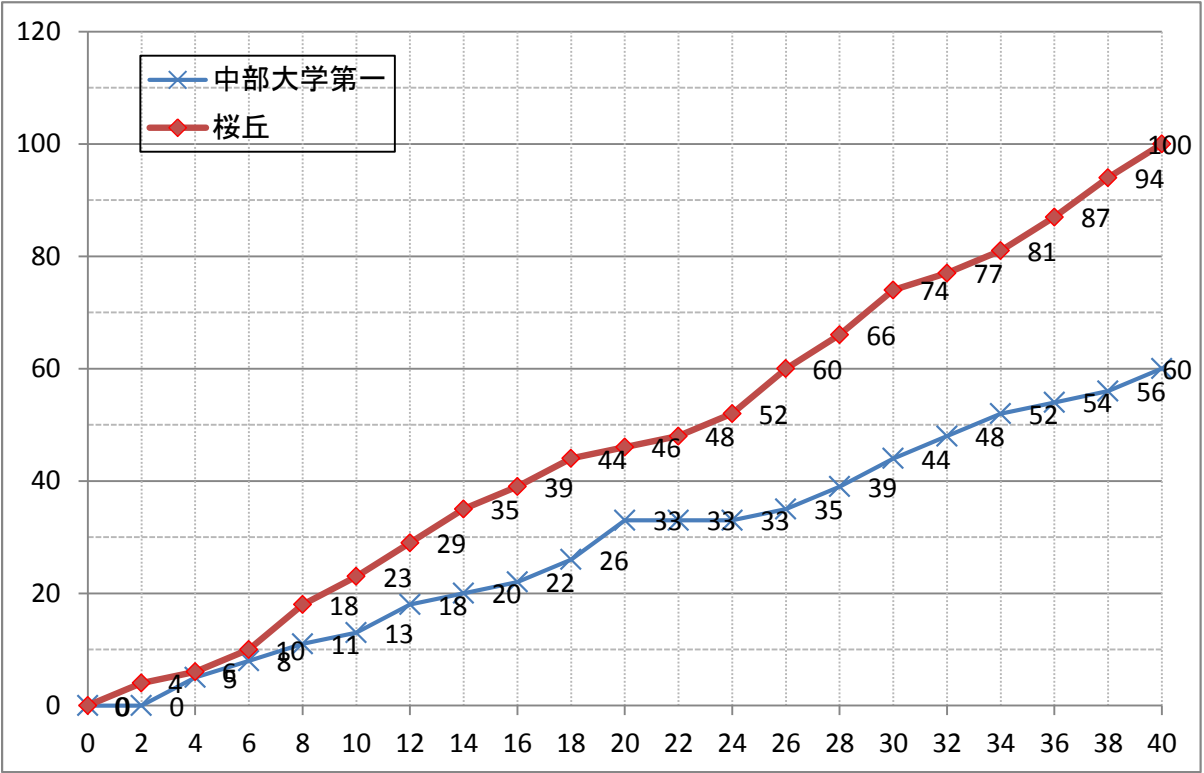
第62回東海総合体育大会バスケットボール競技 会場:浜松アリーナ

男子決勝		TEAM A	
試合日	2015年6月21日	中部大学第一	13 20 11 16
開始時間	15:00	(愛知県)	60
コート	A コート		23 23 28 26
審判(主)	山内 俊幸		100
審判(副)	石越 龍男		桜丘
	山本 雄大		(愛知県)

TEAM A		中部大学第一 (愛知県)					
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	遠藤 和希	7	0	3	1	0
5		早川 雄大	4	0	2	0	2
6	*	中村 浩陸	14	2	4	0	2
7	*	広沢 龍星	6	2	0	0	1
8	*	歌	6	0	3	0	4
9		加納 祐治	-	-	-	-	-
10		大川 翔	3	0	1	1	2
11		上澤 俊喜	0	0	0	0	0
12		小川 元暉	5	1	0	2	1
13	*	ディクソンジュニアタリキ	5	0	2	1	3
14		坂本 聖芽	2	0	1	0	2
15		王 嘉	8	0	4	0	4
16		星野 京介	0	0	0	0	1
17		メディザデモルテザ	0	0	0	0	1
18		植木将太郎	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			60	5	20	5	23

TEAM B		桜丘 (愛知県)					
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	鈴木 空	16	0	6	4	2
5	*	桑 辰弥	12	1	4	1	2
6	*	中尾 良平	19	0	9	1	1
7	*	高橋 理輝	13	0	5	3	3
8		井上 涼	2	0	1	0	0
9		高木 稜梧	0	0	0	0	0
10	*	MBODJ LAMINE	13	0	6	1	1
11		今田 涼斗	4	0	2	0	1
12		DIAGNE COULOU	6	0	2	2	0
13		夏目 雅基	-	-	-	-	-
14		小倉 健	-	-	-	-	-
15		スバ ニッコ	-	-	-	-	-
16		横山遼太郎	-	-	-	-	-
17		宮脇イゴル	15	0	5	5	0
18		大井 崇幹	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			100	1	40	17	10

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1P 愛知1位桜丘と愛知2位中部大第一の決勝戦。両チーム共マンツーマンディフェンスでスタート。桜丘はテンポのよいミドルシュートで得点を重ねるのに対し、中部大第一は⑥の3Pシュートで応戦する。中盤、中部大第一のターンオーバーやシュートミスから、桜丘が速攻を次々と決めリードし始める。残り3分6点差となったところで中部第一がタイムアウトを取り、流れを戻そうとするも、桜丘の速攻が止まらず23-13と桜丘が10点リードで第1P終了。

2P 第1P同様両チームマンツーマンディフェンスでスタート。桜丘は⑩のペイントエリアでの1on1や攻守の切り替えからの速攻で加点をしていくのに対し、中部大第一は⑦の3Pシュートと、⑥の1on1で攻撃するが、なかなか得点が伸びない。残り6分で桜丘のリードが15点となったところで中部大第一がタイムアウトを取る。その後、中部大第一が再び⑦の3Pシュートで勢いに乗ったように見えたが、桜丘⑩のゴール下や速攻で得点を奪い返され、桜丘が46-33の13点リードで前半終了。

3P 前半同様、両チームマンツーマンディフェンス。桜丘は依然⑩のゴール下や、ファストブレイクで次々と得点をするのに対し、中部大第一は4分間ノーゴール。桜丘のリードが19点となったところで、中部大第一タイムアウト。中部大第一は選手交代から、流れを掴み返そうとするが、桜丘が効果的なスクリーンからのスレでできた空間からのシュートや速攻を着実に決め、得点差は広がってしまう。結局74-44と桜丘が30点リードで第3P終了。

4P 両チーム共にディフェンスはマンツーマン。中部大第一はアップテンポな展開からゴールを積極的に狙ったり、オフェンスリバウンドを得点につなげ、反撃に入る。しかし3Pにリードを広げることに成功した桜丘は、サブメンバーが伸び伸びとプレーをし、危なげなくゲームを進め、100-60の40点リードで桜丘が快勝し、新人戦に引き続き、東海1位を勝ち取った。

選評(文責)	齋藤 潤	記入者	夏目 紗希 大橋 美月 (浜松湖北)
--------	------	-----	--------------------